

● コンピュータ活用研究部会

コンピュータ活用研究部会 JFMAフォーラム 発表概要

天神 良久

コンピュータ活用研究部会 部会長
株式会社ケー・デー・シー
ITソリューション部 部長
認定ファシリティマネジャー



JFMA FORUM 2015 コンピュータ活用研究部会の発表は、2月20日(金)10:30～11:20 福寿で、発表者は天神良久(コンピュータ活用研究部会部会長)、佐藤純二(株式会社スプロ)、司会は森本卓雄(アルファアソシエイツ)で行われた。

セミナーのタイトルは「部会の活動概要、CAFM動向、三次元ソリューション動向説明」で、朝一番の発表だったが多くの方々に来場いただけた。

部会の活動概要は、メインテーマが ①「FM 領域に係わるICT^{*1} 新技術の調査」 ②「CAFM^{*2} の利用実例調査」 ③「Eco・Lcc 削減を可能にする環境配慮型ICT 新技術の調査」。

2013年5月～2014年12月までの、勉強会・見学会の概要とトピックスとして、勉強会では「官公庁向け施設保全計画システム、iPad,iPhone による現場作業の効率化ツール、クラウド型地図情報システム等々」、見学会では「三次元免震集合住宅の見学:構造計画研究所、FM 道場:JR 東ビルテック、大学キャンパスリニューアル:東京理科大学神楽坂校舎等々」の事例に関する概要と写真により発表を行った。また、部会員で作成し、JFMA ホームページ上で公開している「CAFM 導入 TIPS 集(CAFM 導入のヒント情報)」、「FM 支援ソフトウェア一覧表(市販のCAFM などの情報)」に関する部会活動も発表した。

三次元ソリューション動向説明に関しては、三次元レーザー計測技術に関する最新情報を発表した。三次元レーザー計測とは、レーザーパルスを測定対象物に照射し、その反射状況を解析し

て、測定対象物表面の三次元位置情報(X,Y,Z 座標値)を点として高精度に計測する機器である。【距離】は、レーザーパルスがスキャナー本体と測定対象物との間を往復する時間差から距離を算出。【角度】は、レーザービームを発射した移動方向角度から算出。【色合】は、レーザービームの受光強度から写真の濃度を取得する。駅ビルやプラントのリニューアル等で実際に利用されている事例と、三次元の点群の情報から、三次元CAD (BIM)へのデータ移行の方法等CADによる実演も行われた(図表)。FMとしての活用方法としては、レーザー計測から取得したパノラマ写真を活用する事で模索中である。

質疑応答では、「レーザー計測による三次元CAD(BIM)データ化の費用はおいくらですか?」というような具体的な質問もいただき、場内も盛り上がりがあった。

※1: ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術)

※2: CAFM (Computer Aided Facility Management: コンピュータ支援によるFM)



図表 三次元CADデータ